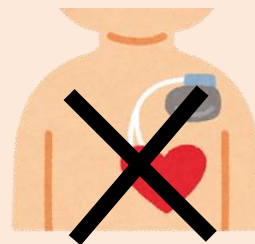


MRI検査の注意事項

検査を受けることができない方

MRIの検査中は大変強い磁場の中に身を置くことになります。このため、装着金属によっては検査が禁忌となってしまうことがあります。

- 心臓ペースメーカー、除細動器を埋め込まれている方
- 人工内耳(移植蝸牛刺激装置)をご使用されている方
- 神経刺激装置(深部脳刺激装置、TENS装置)をご使用されている方
- 骨成長刺激装置
- 注入ポンプ等
- 磁力により装着する義眼や磁力部分が着脱不能な義歯
- MRIに対応していないもの



検査を受けることができない事があるため、担当医にお申し出下さい

- 脳動脈瘤手術による金属クリップやコイル等
金属の材質をご確認下さい。材質のわからない場合は検査を受けることができません。
- その他の金属が体内にある方
眼などの外傷に鉄粉(弾丸や鉄片等)が残存する場合
その他の部位で材質が確認できないもの
長い年月が経過しており手術をした施設でも材質確認ができない場合
体内金属の有無が不明な場合
- 閉所恐怖症の方 : 担当医にお申し出下さい。
- 入れ墨のある方
顔料に含まれる成分で火傷や変色するおそれがあります。担当医にお申し出下さい。
- 妊娠中もしくは妊娠の可能性のある方
胎児に対するMRI検査の安全性は確立されていません。
原則、妊娠3ヵ月までの方は検査をお受けになることができません。

その他の注意

- 検査室内には、補聴器・装飾品・腕時計・磁気カード・電子機器等を持ち込むと故障、データが消失します。
- 入れ歯・使い捨てカイロ・エレキバン・ベルト等は、火傷や画像の乱れを引き起こす可能性がありますので取り外していただきます。
- アイライン・ mascara等は火傷を発生する事例があるため、化粧はなるべくおひかえください。検査内容によっては化粧を落としていただく場合もあります。
- 湿布薬・ニトログラム(ニトログリセリン真皮浸透絆創膏)・ニコチンパッチは電流が流れる場合がありますので外していただきます。
- カラーコンタクトレンズ : 目をいためるおそれがあるため原則、取り外していただきます。



※検査前は更衣室で準備をしていただきます。
上記の持ち込めない物やお荷物ロッカーにしまってください。
アクセサリ等の紛失防止の為、装飾品はなるべく軽くしてのご来院をお勧めいたします。

造影を使用する場合

以下に該当する方は医師にお申し出ください。

気管支ぜんそくと診断された。
腎不全、腎機能低下。透析をしている。
MRI造影剤で副作用が出たことがある。
妊娠中、授乳中の方。



ご不明な点がございましたら下記にお問い合わせください。
 板橋中央総合病院 (代表) 03-3967-1181